



活用したい、iPadの周辺機器あれこれ

iPadは無印iPad、iPad Air、iPad Proなど、入門機からプロ仕様までさまざまなタイプが販売されています。通常版のiPadも、世代によってコネクタの形状（Lightning端子／USB-C端子）が異なるため、周辺機器を選ぶ際には注意が必要です。

Apple Pencil

手書き入力を正確に、精密に行いたい場合には、Apple Pencilが便利です。**非常になめらかに書くことができ、また、書く際に手が画面に触れても反応しないような設定も可能です。**ただし、いくつか注意点があります。

・iPadの種類によって接続できるものを選択する必要がある：

Apple PencilとApple Pencil2、Apple Pencil (USB-C) の3種類あり、対応しているiPadの種類を確認してから購入する必要があります。

・高価：

Apple Pencilは1万円を超えるため、Appleストアなどで試してから購入することをおすすめします。

・デジタル教科書アプリには非対応：

メモアプリなどではApple Pencilの機能を十分に使えますが、デジタル ナースング・グラフィカはApple Pencilに非対応なので、通常のスタイラスと変わりません。

(参考価格)

Apple Pencil 14,880円(税込)

Apple Pencil2 19,880円(税込)

Apple Pencil (USB-C) 12,880円(税込)



映像アダプター

接続先の機器により、VGAアダプターとHDMIアダプターに分けられます。最近の映像機器ではほぼHDMI対応していますので、基本的にはHDMIアダプターを購入すれば問題ないです。iPadの種類によってLightning端子かUSB-C端子を選ぶ必要があります。

このアダプターを使って画面をTVやプロジェクター、PC(キャプチャ機器が必要)に映し出すことができます。

Apple純正品以外では、映像が映し出せない場合があります。



キーボード、マウス

iPadを入力機器として使用する場合には、アプリ内で表示されるソフトキーボードよりも、**外付けのキーボード、マウスを利用したほうが、入力が早く、楽に行えます。**接続はケーブルでもできますが、Bluetooth接続を利用したほうが取り回しが便利です。



ヘッドフォンやプリンターなど、ほかにも多くの周辺機器がありますが、よく使われるのが上記のものです。iPadと同じくいずれも携帯に便利でコンパクトなため、紛失や取り違いには十分に注意して活用しましょう。
※2024年3月現在の情報です。価格等掲載内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

